

令和元年度社会福祉法人えぼっく事業報告書

1 はじめに

令和元年度も平成30年度に引き続き、グループホーム等住まいの建設について国庫補助金を活用してすすめた。同時に、後見制度利用についての相談、後見人の手続きのサポートも増加した。えぼっく開設以来15年目を迎えるが、これまでの通所サービスと短期入所サービスを利用して自宅から通うスタイルから、住まいと通所先の両方の提供を行うと同時に後見制度等の活用による本人の権利保障のバックアップも行い24時間365日、支援をする体制に重点がおかれるようになってきた。

令和元年10月には、上記と同様の理由でNPO法人わーかーびいーで実施していた室蘭市の事業について、利用者と家族の高齢化を踏まえ、今後も安定的に地域において暮らしていくことができるよう体制強化を図るために、社会福祉法人えぼっくへの事業移管を行った。

日中活動の部分では、引き続き支援技術の向上のために障がいの特性に応じた専門研修や権利擁護に関する研修を具体的な利用者の方を想定して実施した。

ほこしあの1階スペースの用途変更による大規模な改修計画については、ホホエム隣地のグループホーム建設の国庫補助金が採択されたため、そちらを優先し3年度以降に延期した。

また、生活困窮者関連事業では、新たに家計改善支援事業と就労準備支援事業を受託し、生活困窮者支援の一層の拡充に努めた。

規模の拡大とともに、各事業の担当・責任のあいまいさも目立ってきた。そのため、事業ごとに担当理事を決め進行管理を行うこと、若手中堅職員（主任クラス）3名と法人監事による意見交換会を数回開催し、法人のかかえる課題や方向性について議論する場をもつなど、組織体制の整備もすすめた。

また、2年2月以降、新型コロナウイルス感染症予防対策で、支援をとりまく環境も大きく変化したが、その中で感染症対策への取り組みをすすめた。

2 南幌地区（ハニカム）

<生活介護>

- ・現在行われている作業内容や作業工程を細分化させて、利用者ひとりひとりが関われる作業内容を取り入れた。また令和2年のカレンダーを作成し、ご家族等へ38部計19,000円を売り上げることができた。
- ・ハニカム2階に作業場を設け、新規事業として、全国障害者福祉援護協会北海道地区本部からリングプルの計量作業の業務委託を受ける。数字や計算に強い利用者が作業にあたり、作業効率を上げるために、本人にわかりやすいツールを作成するなど、個別に作業環境を整えることができた。
- ・月1回開催の職員会議は、非常勤職員も参加しやすいよう開催時間帯の配慮を行った。会議では、日々変わりゆく利用者の状況について話し合い、支援内容の統一を図る事ができ

た。また、ハニカム内の環境整備などについても話し合い、利用者一人ひとりのスペースを確保できるように努めた。

- ・タブレットを使用してケース記録を入力することにより、職員全員が記録を入力し確認をすることができるようになり、職員間でこれまで以上に情報を共有できるようになった。
- ・生活介護事業内での就労支援事業として、野菜、小物を以下のイベントにて物販活動を実施し、9,700円の売り上げとなった。

<物販活動>

- ① 令和元年7月13日（土）南幌高校学校祭
- ② 令和元年7月27日（土）第9回商工会ふれあいまつり
- ③ 令和元年9月29日（日）南幌めぐみ学園 学園祭
- ④ 令和元年10月13日（日）第14回ボランティアフェスタなんぼろ
- ⑤ 令和元年11月9日（土）南幌養護学校祭

<余暇活動等>

日時	内容	実施場所
平成31年4月25日	のど自慢大会	南幌町農村環境改善センター
令和元年5月23日	パフェ作り 冒険ランド	ハニカム ふるさとの森冒険ランド
令和元年6月27日	お好み焼き作り 生涯学習センターぽろろにて 運動	ハニカム 生涯学習センターぽろろ
令和元年7月25日	オリジナル風船作り ドライブ	ハニカム 岩見沢方面
令和元年8月22日	流しそうめん	ハニカム
令和元年9月26日	おはぎ・モンブラン作り	ハニカム
令和元年10月24日	えぼフェスタ	南幌町農村改善センター
令和元年11月28日	ポップコーン作り	ハニカム
令和元年12月26日	ロールケーキ作り	ハニカム
令和2年1月19日	恵方巻作り 豆まき	ハニカム
令和2年2月27日	鈴カステラ作り	ハニカム
令和2年3月26日	スタンドアルバム作り	ハニカム

<日中一時支援>

- ・主として生活介護利用者向けに生活介護終了後に日中一時支援を実施した。

3 北広島共栄・恵庭地区（ホホエム）

<生活介護・就労継続支援 B 型>

(生活介護)

- ・自閉スペクトラム症利用者の支援について質の向上を図るため、外部の機関の支援を受け、個別ケースにおいての対応方法などを学んだ（計 4 回）。発達障がい基礎知識も研修メニューに追加してもらうことで、繰り返し職員への基礎的な支援に取り組む姿勢の意識定着を図りながら、対象のケースだけでなく、ほかの利用者のケースについても、学んだことの応用をするなどの方法で取り組んでみることができつつある。
- ・祝日の通所、余暇活動の取り組みの中で、調理活動、創作活動など利用者に取り組みやすい活動を提供し、通常の平日にも調理活動を取り入れる事で普段の作業活動だけではなくメリハリを持つことができた。

(就労継続支援 B 型)

- ・就労継続支援 B 型において作成した小物を販売した。えぼフェスタ、北の台小学校バザー、れぞみ内での販売等により年間 177,390 円の売り上げとなった。
- ・喫茶れぞみでのカフェ・昼食提供を行い年間 1,029,200 円の売り上げとなった。
- ・喫茶れぞみのメニューを売れ行き状況等も考慮して改定した。一般のお客様で顔なじみのご利用者が増えてきている。
- ・喫茶業務では、調理補助だけではなく、積極的に接客業務にも利用者が行うことができるように挨拶練習、年末年始営業休み期間にマナーの研修に取り組み、接客業務にも職員と共に取り組んだ。

<余暇活動等>

日時	内容	実施場所
平成 31 年 4 月 25 日	調理(フレンチトースト作り)	ホホエム
令和元年 5 月 23 日	調理(おやつ作り)	ホホエム
令和元年 6 月 27 日	調理(肉団子スープ作り)	ホホエム
令和元年 7 月 25 日	調理(カラフルボール作り)	ホホエム
令和元年 8 月 22 日	調理(お菓子作り)	ホホエム
令和元年 9 月 26 日	調理(肉まん・ゴマ団子作り)	ホホエム
令和元年 10 月 24 日	調理(おにぎらず作り)	ホホエム
令和元年 11 月 28 日	創作活動(リース作り)	ホホエム
令和元年 12 月 26 日	クリスマス会	ホホエム
令和 2 年 1 月 19 日	調理(パンケーキ作り)	ホホエム
令和 2 年 2 月 27 日	創作活動(紙粘土工作)	ホホエム
令和 2 年 3 月 26 日	創作活動(フォトフレーム)	ホホエム

<道央知的しょうがい者福祉施設協会のオンブズマン事業によるオンブズマンとの面談>

- ・令和元年度 3 回（7 月 23 日（火）・9 月 24 日（火）・11 月 12 日（火））にわたりホホエム

に、オンブズマンが来所され、ホホエムの利用者との面談が実施された。(特に指摘事項等はなし)

<短期入所>

- ・グループホームともっとの開設により短期入所の利用者数は減少した。
- ・服薬状況の把握、服薬忘れが見られないよう短期入所利用時の服薬ケースを統一して行っている。

<日中一時支援>

- ・北広島市内の利用者の入浴サービスなどの提供を継続して行った。
- ・通所利用者のご家庭事情での生活介護の通所終了後の時間帯の一時的な預かりに柔軟に対応することができた。

4 地域生活支援センター (ともっと・あざれあ・てとる)

4-1 ともっと

<共同生活援助>

(地域生活支援センター)

- ・グループホーム利用者の現金の預かりについて 30 名を超えた事もあり、預り金の管理・運用方法を改訂し、紛失等が発生しないよう努めている。
- ・世界的な新型コロナウイルス感染症の感染者拡大により、感染防止の観点からご本人とご家族の理解を得て、ご家庭とグループホームの往来を最小限にとどめ、また各所消毒やマスクの着用、職員の不要不急な外出の自粛協力など実施し、感染者はゼロとなっている。
- ・家族状況の変化により、成年後見制度を活用するケースが増えてきており、順次相談を受ける等しながら対応を進めている。
- ・触法の疑いにより逮捕された利用者について、弁護士や医師の協力を得てご本人の判断能力や理解力を警察に証明し、不起訴となったケースを支援した。
- ・週末の過ごし方として、買い物やヨガの参加、公共交通機関の利用など外出の幅は広がってきた。機会を多く確保していくことが今後の課題と考えている。

(あっと・もっと)

- ・休日の余暇支援について居宅介護等事業所と連携し、公共交通機関を利用した買い物や外食など様々なニーズに細やかに対応した。
- ・利用者の余暇について、選択の幅を広げるための支援として、インターネットやパンフレットを活用し、視覚情報からご本人がわかりやすく情報収集できるよう支援をした。
- ・定期的な通院により、皮膚疾患の改善や口腔内の状態を良好に保つなど、体調管理を支援した。
- ・あっとのボイラー、洗面台が経年劣化により故障し、交換を行った。
- ・もっとの温水便座が経年劣化により故障し、交換を行った。

(ソレイユ)

- ・利用者の自立的な生活支援の一つとして、毎週居室の掃除機かけやごみの分別など清掃を一緒に行う、また季節に合わせた衣類の準備などの支援を行った。
- ・母親の疾患から家庭生活の継続が困難となった利用者を、相談支援事業所と協力し緊急に新規利用者の受け入れを行った。
- ・網戸が経年劣化により破損個所が多くなったため、交換した。

(きらっと)

- ・慢性疾患で終末期を迎える利用者へ、介護保険を利用した訪問看護を導入し、日々の体調管理を継続中。また、毎日職員による訪問支援を実施し、バイタルチェック、入浴、食事の見守りを行っている。

(ともっと)

- ・開設から1年3ヶ月が経過し、利用者の生活サイクルが定着し、精神的にも安定した生活を過ごしている。
- ・生活に潤いを持っていただくために、利用者の誕生日にはリクエストメニューを導入した。少しずつ利用者もともっとにおける生活が定着してきている。週末の帰省日数が減少するなど稼働率対策にもつなげていく。

(避難訓練)

- ・自然災害や夜間を想定した避難訓練を実施し、ホーム内の避難経路の確認、避難所へ実際に避難し経路を確認するなど、防災に対する意識を高めた。また、職員は通報訓練や消火訓練を行い、緊急時の対応が確実に取れるよう訓練した。

4-2 あざれあ

<特定相談支援・障がい児相談支援>

- ・登録者は123名で、計画作成のべ86名、モニタリング作成のべ147名となっている。
- ・北広島市内の障がい児者以外に、えぼっくの利用者の相談支援にも力を入れている。法人内各事業所との連携や北広島市内の他事業所との連携を図るよう努めた。
- ・モニタリング時期や必要に応じてケア会議、サービス調整会議等を開催し、利用者の現状把握、支援の方向性について確認し、また各関係機関との連携をより強化できた。

4-3 てとる

<居宅介護・重度訪問介護・行動援護・移動支援>

- ・通所利用者、グループホーム利用者などの余暇支援を継続的に実施した。余暇支援では、温泉、外食、買い物、地下鉄への乗車などの利用が中心であった。
- ・身体介護、通院介助などの支援についても継続的に医療機関への通院を実施し、健康状態の確認をして家庭やグループホームと連携した。

<福祉有償運送>

- ・居宅介護等サービスの利用を中心に、登録車両4台により、延べ401名の利用があった。

5 北広島団地地区（ほこしあ・フクラム）

5-1 グループホームほこしあ

<認知症対応型共同生活介護>

- ・ご家庭という事を意識して、何気ない日常生活の中での楽しみを大切にしながら、利用者の能力に合わせ自立した生活を送ってもらうよう努めた。
 - ・季節感を感じていただけるよう、季節に合わせた行事を計画し、ご家族にも参加していただけるよう案内を出した。少人数であったが、参加やお手伝いいただく事ができた。
 - ・自賄いでの3食の食事提供は定着し、行事食なども柔軟に対応することができた。
 - ・利用者の体調管理を日々行い、訪問診療の医師と連携を取り、柔軟に対応することができた。
 - ・レクリエーションでは高齢者の課題である、誤嚥防止の為、カラオケや合唱を多く取り入れ、脳トレなども楽しく実施することができた。
 - ・毎月の職員会議等で内部研修を中心に介護サービス計画の大切さや、身体拘束等の適正化・虐待防止や感染症対策などを実施してきた。
- 次年度は職員一人一人に定着できる様、きめ細やかな研修を継続できるよう努める。

<ほこしあの行事>

開催日	催事等内容
令和元年 5月15日	お花見
令和元年 7月3日・4日	道の駅めぐり ドライブ
令和元年 8月3日	バーベキュー大会
令和元年 9月15日	敬老会
令和元年 11月27日	わかば幼稚園防災訪問
令和元年 12月26日	ほこしあ餅つき大会
令和元年 12月28日	年末お楽しみ会
令和2年 2月18日	節分豆まき / 鍋パーティー

<ほこしあ運営推進会議の開催>

- ・利用者代表、ご家族代表、地域民生委員・児童委員、北広島市職員で委員を構成し、提供しているサービス内容、地域に開かれたサービスの提供についての意見を伺い、サービスの質の向上に努めた。

<運営推進委員> 利用者代表～村木 悠子様
 ご家族代表～伊東 正剛様、大滝 和子様
 地域民生委員・児童委員～工藤 晃様
 北広島市高齢者支援課～宮本 大介様

実施日	出席委員	会議事項
-----	------	------

令和元年 5月16日	7名	事業報告、年間行事予定、主な活動報告
令和元年 7月18日	7名	事業報告、主な活動報告
令和元年 9月19日	7名	事業報告、主な活動報告
令和元年 11月21日	7名	事業報告、主な活動報告
令和2年 1月16日	7名	事業報告、主な活動報告
令和2年 3月20日		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

5-2 フォラム

<生活介護・日中一時支援>

- ・主として重症心身障がい者、肢体不自由者を積極的に受け入れた。利用者の体の機能維持や、利用者の気持ちに寄り添うことに重点をおいて個別の時間を活動に取り入れて支援した。
- ・天候の良い日などは、散歩やドライブなどの気分転換を図るなど屋外活動を行った。
- ・日中一時支援では入浴サービスや通所後の一時的な預かりの場として支援を継続して行った。

5-3 きらっと

<短期入所>

- ・ホホエムの短期入所の補完的役割として定員を超えての受け入れが必要になった際の受け入れ先として開設していたが、グループホームともっとの開設で短期入所の利用希望が減少したため、2年5月から休止している。

6 室蘭地区（八丁平共生型センターはっち）

- ・NPO法人わーかーびーで事業を行ってきた八丁平共生型センターはっちについて、利用者やご家族の高齢化が進んでいる。今後も長期的な視点で鑑みたときに、地域において安定的な生活を営んでいく事ができる体制整備や強化が必要であり、ろぐらん・らんらんの利用者並びにご家族との面談や各事業の諸官庁である室蘭市、胆振総合振興局と協議の上、令和元年10月より事業移管を実施している。

6-1 ろぐらん

<生活介護>

- ・重症心身障がい者の利用が多いことから活動内容は、体の機能維持や緊張をほぐすためのマッサージなどに力を入れている。
- ・経管による胃瘻を必要とする方には、看護師のほか3号研修を終了した職員が医療的ケアを行っている。
- ・通所者数については、曜日によりばらつきがあり、定員にはまだ余裕がある。
- ・余暇活動では、春はドライブを兼ねた桜鑑賞や天気の良いときは、施設周辺の散歩、散策

を行っている。また、室蘭港に停泊した豪華客船の見学も行っている。

<日中一時支援>

- ・室蘭養護学校の児童、生徒に送迎サービスを含め対応している。

6-2 らんらん

<居宅介護・重度訪問介護・移動支援>

- ・共同住宅があだば一とにおいて、3名の方に重度訪問介護、身体介護の夜間支援を行っている。食事の提供は家族が中心に行っているが、高齢化が進み、今後の課題である。
- ・移動支援は定期利用が主で、プール、スポーツクラブへの同行や、不定期ではあるがイベントへの同行も行った。

7 きたひろしま暮らしサポートセンターぽると（北広島市委託事業）

<生活困窮者自立相談支援>

（自立相談支援事業）

- ・新規相談が120件で、前年度より28件増加した。終結件数を除いた継続支援中のケースは204件。
- ・支援プラン作成は56件、就労者数は17件、増収者数は3件となっている。支援件数は4,075件となっている。
- ・令和元年度の相談内容件数（重複有）としては6,903件となっており、相談者の生活課題の解決には長期的な視点での相談支援が必要となっている。
- ・令和2年1月元旦にむけて、相談者にハガキにて初詣に行く企画の案内を行った。3名参加した。
- ・新型コロナウイルス感染症が広まる中、これに関する相談が増加した。令和2年2月1件、3月5件であった。
- ・ぽるとにおいて土曜相談（第1土曜日 8:45～12:00）を開催し1件の相談があった。また、大曲・西の里・団地の各地区で出張相談（不定木曜日 10:00～12:00）を隔月で開催し、4件の相談があった。

（にじいろカフェ）

- ・ひきこもりの当事者・家族、関係機関を対象ににじいろカフェを開催し、のべ38名が参加した。
 - ① 令和元年6月27日（木） ・ひきこもりについて経験談や家族関係のこと
 - ② 令和元年8月22日（木） ・ひきこもりの実態と支援の様子
 - ③ 令和元年10月17日（木） ・ひきこもりケースについての当事者及び家族への支援について
 - ④ 令和元年12月19日（木） ・ひきこもりにとっての就労とは！！
「農福連携実践 事例報告」

⑤ 令和元年2月20日(木) ・ひきこもりについて経験談や家族関係のこと

<家計改善支援事業>

- ・令和元年5月から実施。

家計に課題を抱える相談者の相談に応じ、家計状況を明らかにし、家計再生プランをたて家計改善にむけた意欲を引き出す。家計表やキャッシュフロー表等のツールを用いて家計の見通しを一緒に確認し、ご自身で家計管理ができるよう支援を行った。

① 相談者実人数 19名 (男性7名、女性12名)

② 家計再生プラン作成数 22件 (そのうちプラン更新者3名)

③ 年齢層 20代2名、30代1名、40代4名、50代6名、60代4名、
70代1名、80代1名

④ 地区別 東部10名、団地地区5名、西の里2名、大曲1名、西部1名

⑤ 世帯状況 単身10名、2人世帯6名、3人世帯1名、4人世帯1名、6人世帯1名

○支援内容別では、家計管理支援14名、滞納解消・制度利用支援12名、債務整理に関する支援5名、貸付あっせん7名、その他(就労支援、食料支援、転居支援など)11名となっている。

<就労準備支援事業>

- ・令和元年5月から実施。相談者一人ひとりに合わせたメニューを作成し、生活自立支援として定期的な居場所活動、社会的自立支援として就労体験やボランティア活動、就労自立支援として履歴書作成指導や職場見学などの支援を行った。

○支援内容別人数

・生活自立支援 居場所活動21回実施、実利用人数9名、のべ人数44名

・社会的自立支援 就労体験3名、お祭りボランティア参加2名、地域のイベントに参加1名

・就労自立支援 履歴書指導3名、認定就労訓練2名、職場見学3名、職場同行1名
就労準備支援プログラム作成者4名 (20代男性1名、40代男性3名) 一般就労者数1名、福祉的就労者1名

<学習支援事業>

- ・毎週火曜日 17:00~19:00 に中学生を対象に数学と英語の学習の機会を提供し、42名の登録があり、コーディネーター1名、学習支援員22名(教員OBや大学生ボランティア)で対応した。また、夏休み、冬休み、春休み期間中には、自習室を開催した。さらに高校受験する中学3年生の生徒に対し、受験対策集中講座を実施した。

・生徒の参加延べ人数は1067名となった。

<一時生活支援事業>

- ・平成30年4月から、北広島市より委託を受けた(前年度は自主事業として実施)。住居のない方を対象に、一定期間に限り食住を提供しながら自立に向けて支援する。ほこしあ内

の一室を利用。相談は2件あり、実際の利用は1名であった。

① 70代（男性、大曲地区、アパート立ち退き後公園で生活）

→利用実績 令和元年9月26日（木）～12月1日（日） 計 36泊37日

<食料支援>

- ・食べるものに困っている方々への提供、生活保護費受給までのつなぎ食糧支援、その他（外国籍の方など）。食料は千歳市にあるボランティア団体と連携し確保するほか、今年度は市内の農家等からもお声かけいただき野菜などを確保できた。
- ・配布のべ件数は567件となった。

<無料職業紹介事業>

- ・相談支援、就労訓練を経た相談者の次のステップとして、ぼるとでは一貫性を持った相談支援体制の構築のため、職業紹介を平成29年3月から実施している。
- ・今年度は、市内企業から8件の求人に対し、9件の雇用斡旋を行い、7件の採用となった。

<認定就労訓練事業>（法人独自事業として、ハニカム・ホホエム・ほこしあで実施）

- ・今年度は2名の対象者について、ぼるとの就労訓練プログラムに基づき、認定就労訓練事業を行った。2名とも、体力の自信をつけ、就労意欲が増大し、1名は就職活動を開始し、1名は市内企業に就職した。
- ・各事業における延べ日数は、ホホエム（ハニカム含む）2日、ほこしあ36日となった。

<ぼると移転記念講演会>

- ・ぼると拠点に移転（令和元年6月24日）となり、改めてぼるとの周知・PRを行う目的で、中央大学教授の宮本太郎様を講師として迎え講演会を実施した。

日 時 令和元年9月4日（水） 13:30～15:00

場 所 北広島市芸術文化ホール活動室1・2

講 師 中央大学教授宮本太郎 氏

テーマ 「あたらしい『支えあい』のかたち～困窮と孤立をふせぐ～」

参加者 111名

8 第2共栄ホームの建設工事着工について

- ・ホホエムの隣地の第二期計画として、グループホーム建設工事に着手した。令和元年度社会福祉施設等施設整備費補助金を活用して、建設工事をすすめた。

補助金額 35,340,000円

契約金額 122,100,000円

請負業者 株式会社稲田組

工期 令和元年9月4日(水)～令和2年5月22日(金)

- ・年度内で竣工、補助事業完了の予定であったが、建設業界全体の人材不足による、業者の確保や新型コロナウイルス感染症の拡大での資材搬入の遅延により、令和2年5月22日に完成引き渡しを受け、入居準備を進めている。

9 被虐待障がい者の地域生活支援調査研究事業への参画

- ・札幌こころのセンターからNPO法人わーかーびーが受託している上記研究事業に参画し、支援者を派遣するとともに、こころのセンター等で開催された会議等に関係職員を派遣した。

10 えぼフェスタの開催

<えぼフェスタ 2019 開催>

- ・開催日：令和元年10月5日(土)
- ・場所：南幌町農村環境改善センター
- ・参加人数：約250名・一般参加者 約80名
利用者 58名
ボランティア 25名
職員・その他 70名
- ・催事内容 販売コーナー、縁日コーナー、飲食コーナー、ステージショーなど
- ・ステージショーには、琉球国祭り太鼓北海道支部の皆様による演舞、札幌ドラムサークルによるパーカッションアンサンブルで会場が一つになって楽しむことができた。
- ・南幌町ボランティア活動登録者連合会、南幌町北町町内会福祉部会、星槎道都大学北海道文教大学にボランティアのご協力をいただいた。

11 各事業所の事故対応状況について

<令和元年度の事故等対応報告集計について>

	ハニカム	ホホエム	ともっと	ほこしあ	はっち	合計
ケガ・転倒	2	3	1	0	3	9
物損	1	2	1	0	0	4
服薬	0	2	2	1	0	5
苦情・その他	1	0	4	0	0	5

◎ひやりはっと

	ハニカム	ホホエム	ともっと	ほこしあ	はっち	合計
年間合計	1	7	7	8	0	20

<監督官庁への事故報告について>

- ・令和元年度の事故等対応の中で、諸官庁への報告については下記の通りとなっている。

○ハニカム	通院を伴う怪我	1件
○ホホエム	なし	
○ともっと	服薬	2件
○ほこしあ	なし	
○はっち	通院を伴う怪我	1件

12 避難訓練ならびに非常災害に向けたマニュアル策定

- ・各事業所における避難訓練については、各種法令に基づき実施した。
- ・各事業所の非常災害計画は策定済みであるが、法人全体での包括したマニュアル策定は次年度に持ち越し策定を進めていく。

<各事業所の避難訓練状況>

- ハニカム ～令和元年7月17日(水)(火災、自然災害想定)
令和元年12月9日(月)(火災、自然災害想定)
- ともっと
 - ・あっと ～令和元年7月16日(火)(夜間・自然災害想定)
 - ・もっと ～令和元年8月22日(木)(夜間・自然災害想定)
 - ・ソレイユ～令和元年8月18日(日)(夜間・自然災害想定)
令和元年12月26日(木)(夜間・自然災害想定)
 - ・きらっと～ほこしあと合同実施
 - ・ともっと～令和元年7月29日(月)(夜間・自然災害想定)
令和2年1月23日(木)(夜間・自然災害想定)
- ホホエム ～令和元年8月19日(月)(火災・自然災害想定)
令和元年11月26日(火)(火災・自然災害想定)
- ほこしあ ～令和元年6月18日(火)(日中・地震による火災想定)
令和元年12月2日(月)(日中・火災想定)

13 法令遵守、各種マニュアルの見直しと事故防止に向けた取り組み

- ・障がい福祉・介護保険サービス事業のマニュアルや、職員を取り巻く様々な法令の遵守、事故防止に向けた取り組みについて、管理者が主導となり、職員の多様な働き方、技能実習生など多様な人材に対応したわかりやすいマニュアルの見直しについては次年度に持ち越し取り組んでいく。

14 人権擁護・虐待防止への取り組み

- ・身体拘束ゼロ対策は、全職員が一丸となって取り組むべき課題であると同時に、単に身体拘束をゼロにすることだけにとどまらず、よりよいケアのあり方、ケアの本質について介護の内容を見直し、更なるサービスの向上へ向けての取り組みである。グループホームほこしあでは、身体拘束ゼロについて定期的に会議をし、マニュアル作成に向けて取り組んでいる。

<身体拘束ゼロに向けたほこしあでの取り組み>

令和元年7月23日(火) 「身体拘束適正化および虐待防止に向けたマナー接遇の内部研修」

令和元年11月12日(火) 「身体拘束適正化および虐待防止研修」

15 ICT活用に向けたソフト導入について

- ・利用者の生活状況や活動記録、健康管理などの情報共有を進めるため全事業所（はっち除く）に記録ソフトの導入とiPadの整備を行った。また、運用に向け全職員を対象とした説明会を開催し、令和元年11月から運用を行っている

<職員説明会の開催> 令和元年10月23日(水)～25日(金)

16 個別支援計画に基づく支援の充実と説明の機会の充実

- ・個別支援計画に基づく支援の充実を図る為に、計画の策定、モニタリング、面談を令和元年9月に実施した。令和2年3月の懇談に関しては、新型コロナウイルス感染症の感染予防の観点から、各家族へ個別支援計画を郵送している。懇談を希望のあるご家族については、別日程を設けて家庭訪問をしている。

<個別支援計画面談（ハニカム・ホホエム・フクラム）>

令和元年9月26日(木)～9月28日(土)

ハニカム17名 ホホエム26名 フクラム5名

- ・個別支援計画の内容については、各事業所でモニタリング会議や策定会議を開催し支援の方向性を決めている。個別支援計画の内容も、実際に個別支援計画の取り組みを動画に撮り、懇談時にご家族へ動画を用いて面談会を進めた。

17 理事会の開催

日時	出席理事 監事	議事・報告事項
----	------------	---------

令和元年 6月 10日	理事 5名 監事 2名	<p><議事></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年度事業報告書(案)について ・平成 30 年度収支決算報告(案)について ・平成 30 年度監事監査報告について ・平成 30 年度社会福祉充実残額の算定について ・令和元年度定時評議員会の招集について ・評議員候補者の評議員選任・解任委員会への推薦について ・定款変更及び所轄庁への定款変更申請について <p><報告事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回以降の道への事故報告について
令和元年 6月 25日	理事 5名 監事 2名	<p><議事></p> <ul style="list-style-type: none"> ・理事長の選任について <p><報告事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回以降の道への事故報告について
令和元年 7月 4日	理事 6名 監事 1名	<p><議事></p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定非営利活動法人わーかーびいー室蘭事業所「八丁平共生型センターはっち」の譲受について ・ハニカム 2 の解体について ・評議員会の招集について ・(仮称)第 2 共栄ホーム国庫補助申請について ・(仮称)第 2 共栄ホーム建設委員会の設置について ・評議員選任・解任委員の選任について
令和元年 8月 10日	理事 4名 監事 2名	<p><議事></p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループホーム利用者様、預り金の紛失について
令和元年 9月 4日	理事 5名 監事 1名	<p><議事></p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 2 共栄ホーム建設の一般競争入札結果及び工事請負業者の決定について <p><報告事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 2 共栄ホーム建設工事について ・第 2 回建設委員会の報告について
令和元年 9月 27日	理事 6名 監事 1名	<p><議事></p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定非営利活動法人わーかーびいー室蘭事業所「八丁平共生型センターはっち」の譲受について
令和元年 9月 27日	理事 6名 監事 1名	<p><議事></p> <ul style="list-style-type: none"> ・経理規程の一部改定について ・令和元年度第 1 次補正予算について ・仮称第 2 共栄ホーム建設に係る資金計画について

		<p><報告事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・監事監査報告について
令和元年 11 月 18 日	理事 6 名 監事 2 名	<p><議事></p> <ul style="list-style-type: none"> ・八丁平共生型センターはっち 土地建物取得における基本財産組み入れ及び定款変更届について ・仮称第 2 共栄ホーム建設における基本財産組み入れ及び定款変更届について ・ハニカム 2 解体に伴う基本財産処分承認申請並びに定款変更認可申請について ・令和元年度第 3 回評議員会の招集について ・外国人技能実習生の受入れに係る社宅の確保並びに日本語指導について <p><報告事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・理事長の業務執行状況報告及び常勤理事への事業計画・通常業務における担当職務委嘱及び進捗状況について ・恵庭手をつなぐ育成会運営事業所の今後について考える勉強会等への出席依頼について ・前回報告以降の道への事故報告について
令和 2 年 2 月 20 日	理事 6 名 監事 1 名	<p><議事></p> <ul style="list-style-type: none"> ・居住支援法人指定申請による相談支援体制について ・令和元年度第 2 次補正予算について ・評議員の交代について ・各種委員会の令和 2 年度体制について <p><報告事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回以降の道への事故報告について ・理事長の業務執行状況報告 ・監事監査報告 ・常勤理事の担当職務進捗状況報告
令和 2 年 3 月 27 日	理事 6 名 監事 2 名	<p><議事></p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度第 3 次補正予算について ・令和 2 年度事業計画(案)について ・令和 2 年度当初予算 (案) について ・評議員の辞任に伴う新評議員候補者の評議員選任・解任委員会への推薦について ・給与規程及び非常勤職員就業規則の一部改定について ・居住支援法人の事業指定に伴う、定款変更認可申請について ・評議員会の招集について

18 評議員会の開催

日時	出席評議員	議事・報告事項
令和元年 6月 25日	評議員 6名 監事 2名	<p><議事></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年度事業報告書(案)について ・平成 30 年度決算報告書(案)について ・平成 30 年度社会福祉充実残額の算定について ・定款変更及び所轄庁への定款変更申請について ・理事及び監事の選任について <p><報告事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設長及び事務局長の任免について ・平成 30 年度監査報告について ・評議員の就任について
令和元年 7月 18日	評議員 5名 監事 1名	<ul style="list-style-type: none"> ・ハニカム 2 解体について ・特定非営利活動法人わーかーびー室蘭事業所「八丁平共生型センターはっち」の譲受について ・(仮称)第 2 共栄ホーム国庫補助申請について
令和元年 11月 27日	評議員 5名	<ul style="list-style-type: none"> ・「八丁平共生型センターはっち」土地・建物取得に伴う基本財産組み入れ及び定款変更届について ・(仮称)第 2 共栄ホーム建設に伴う基本財産組み入れ及び定款変更届について ・ハニカム 2 解体に伴う基本財産処分承認申請及び定款変更認可申請について

19 監事監査の実施

監査実施日	出席監事	内容
令和元年 9月 24日	細川 道子	第 1 四半期 会計監査
令和元年 10月 21日	丸山 正三	第 1 四半期 業務監査
令和 2 年 1月 6日	丸山 正三	第 2 四半期 業務監査
令和 2 年 1月 20日	丸山 正三	第 3 四半期 業務監査
令和 2 年 2月 18日	細川 道子	第 2 四半期 会計監査
令和 2 年 6月 5日	丸山 正三	第 4 四半期 業務監査
令和 2 年 6月 8日	細川 道子	第 3 四半期 会計監査
令和 2 年 6月 12日	細川 道子	第 4 四半期 会計監査

20 令和元年度社会福祉法人に係る指導監査受検について

- ・令和元年8月30日(金)社会福祉法人の指導監査を北海道保健福祉局施設運営指導課法人運営グループの担当者が来訪され、法人の運営についての指導監査を受けた。同年12月12日付文書により、文書指摘事項はなく、改善状況に係る報告は不要であるが、引き続き適切な運営に努めていく。

21 第三者委員活動の実施

- ・池田委員が退任し、新たに佐々木明美氏、今井明日香氏へ第三者委員を委嘱し、3名の体制とした。
- ・令和2年2月以降、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響で、グループホームの訪問や第三者委員会の開催を自粛した。

<委員名簿>

今井 明日香 委員 (弁護士)

大西 登志子 委員 (民生委員・児童委員)

佐々木 明美 委員 (北海道ハイテクノロジー専門学校 教育顧問)

開催日	出席者	内容
令和元年12月3日	大西委員、佐々木委員	令和元年度第三者委員活動について、苦情解決体制について、平成30・令和元年度各種事故報告について、質疑、意見交換
令和2年1月21日	大西委員、佐々木委員	ホホエム事業所訪問
令和2年1月28日	今井委員	ほこしあ事業所訪問
令和2年2月18日	今井委員、佐々木委員	ハニカム事業所訪問

22 法人各種業務の常勤理事の所管業務の明確化

- ・法人の各種業務についての責任の所在について課題が浮き彫りになってきたことから、責任の所在の明確化を図るべく、常勤理事に対し広報、危機管理対策、事業、総務の4部門と属する業務内容の整理を行った。理事会において進捗状況を外部理事・監事へ報告を行った。次年度以降も業務内容について精査しながら役割分担を明確にしながら業務を執行していく。

23 えぼっくホームページの全面リニューアルについて

- ・えぼっくのホームページを開設してから10年が経過したことから、内容を抜本的に見直し、全面リニューアルを図ることとし、令和元年11月より業者との打ち合わせを開始している。
- ・時代の変化に伴い、スマートフォンやタブレット端末を利用した閲覧が容易な形で

のホームページ構成に向けて準備中である。学生などからの事業所見学会や採用試験の申込などもいつでもエントリー出来るようにし、対応の迅速化を図る。

24 法人内研修・会議の開催

- ・ホホエム・ハニカム合同での札幌市自閉症・発達障がい支援センターおがるの機関支援の受講や、ほこしあでの身体拘束ゼロに向けた取り組みの中での内部研修、八丁平共生型センターはっちでの重症心身障害者への介護技術向上に向けた取り組みなどを行っている。
- ・法人内研修として、虐待防止研修を札幌市の高齢者・障がい者権利擁護委員会に所属している弁護士を招いて、実際の虐待案件の裁判例などを用いてグループワーク等で虐待防止についての理解を深めた。全4回を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、2回の実施となり、残りは次年度へ持ち越しとなった。
- ・その他、新規採用職員研修会について、ソーシャルディスタンスを保ちながら実施した。

<札幌市自閉症・発達障がい支援センターおがるの機関支援>

講師 大館 美奈子 氏（社会福祉法人はるにれの里 札幌市自閉症・発達障がい支援センターおがる コラボレーター）

- ・令和元年4月4日（木） 通所利用者のケース検討 参加者 10名
 - ・令和元年7月19日（金） 非常勤向け発達障がい者へのかかわり方について 参加者 14名
 - ・令和元年8月19日（月） 通所利用者のケース検討 参加者 11名
- ※ 昨年度8月以降予定していたが、日程の都合が合わず、次年度に持ち越し

<八丁平共生型センターはっち介護技術研修>

講師 松本 未香 氏（株式会社シーぼーと代表取締役）

- ・令和元年10月15日（火） 利用者の介護技術研修 参加者 9名
- ・令和元年11月19日（火） 利用者の介護技術研修 参加者 9名
- ・令和元年12月12日（木） 利用者の介護技術研修 参加者 7名

<虐待防止研修>

講師 弁護士 塚谷 翔 氏（札幌市高齢者・障がい者権利擁護委員会）

- ・令和2年1月20日（月） 高齢者虐待について 参加者 15名
- ・令和2年2月3日（月） 障がい者虐待について 参加者 41名

※ 上記の他2回予定していたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の為、延期

<新規採用職員研修会>

- ・令和2年3月26日（木） えぼっくの理念や事業所の取組、就業規則等について

25 感染症対策委員会設置・開催について

- ・新型コロナウイルス症の世界的な感染拡大により、法人として感染症対策委員会を各事業所から委員を選任し、感染者発生を防ぐべく、対策等の検討・実施を行った。
- ・通所利用者へ送迎車に乗る前に家庭での検温依頼や、サービス利用中の体調管理に努めた。厚生労働省のガイドラインに沿って 37.5℃以上の場合は通所を自粛していただいた。グループホーム利用者へは規制についてご家庭の協力・理解を経て、グループホームと家庭の往来を最小限に留める、面会自粛を依頼した。職員に対しても、マスクの着用・建物の消毒、手指消毒、外出の自粛など自覚ある行動を促した。
- ・感染症対策委員会の中で、国内外の新型コロナウイルス感染症の感染状況の把握や事業所の感染予防対策の取り組み進捗など議論しながら段階的に自粛解除などの対応を行った。
- ・次年度以降も新型コロナウイルス感染症の感染予防や、ノロウイルス・インフルエンザなどの感染予防対策の為継続的に委員会を開催していく。

<感染症対策委員会>

開催日	内容
令和2年2月28日	新型コロナウイルス感染症の法人内での対応について
令和2年3月12日	各事業所での感染予防対策の進捗状況、手洗いの動画を閲覧し看護師による手洗い、消毒の効果、必要性の学習会

26 監事と若手中堅職員の意見交換会の実施

- ・えぼっくが開設されてから丸14年を迎え、事業規模は北広島・南幌・室蘭など広域にわたり、また利用者を支える職員も総勢120名を超え、法人の体制について、長期的な視点を持った職員の育成や、組織体制、事業展開のあり方を考える事が必要となってきた。令和元年10月より、えぼっくの丸山監事を座長に迎え、各事業所の若手中堅職員との意見交換会を5回実施した。当初は全6回を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策のため次年度に持ち越している。
- ・意見交換の中で、まずは中堅職員が感じている課題を挙げてもらい、課題に取り組むために福祉サービス第三者評価基準ガイドラインを用い、法人組織の現状について相互評価を実施した。福祉サービス第三者評価基準ガイドラインについては、中堅職員だけでなく、管理職についても法人組織の現状把握のため、丸山監事と共に全2回実施している。

<意見交換会>

開催日	内容
令和元年10月21日	若手中堅職員との意見交換（法人内の課題について共有）
令和元年11月29日	若手中堅職員との意見交換（第三者評価基準ガイドラインのチェック）
令和元年12月26日	若手中堅職員との意見交換（第三者評価基準ガイドラインのチェック）

令和2年1月20日	若手中堅職員との意見交換（第三者評価基準ガイドラインのチェック） 管理職との意見交換（第三者評価基準ガイドラインのチェック）
令和2年2月17日	若手中堅職員との意見交換（第三者評価基準ガイドラインのチェック） 管理職との意見交換（第三者評価基準ガイドラインのチェック）

27 外部研修への参加

開催日	会議名等	人数
令和元年5月16日	道央知的しょうがい者福祉施設協会施設長会議	1名
令和元年5月16日	全国脊髄損傷者札幌支部設立シンポジウム	1名
令和元年5月22日～23日	全道施設長セミナー	1名
令和元年6月12日～14日	家計改善支援事業養成研修	1名
令和元年6月25日	技能実習責任者講習	1名
令和元年7月12日	令和元年度新任経理・総務担当者研修	1名
令和元年7月22日～23日	令和元年度全国知的障害関係施設長等会議	3名
令和元年7月22日	社会福祉法人経営者セミナー	1名
令和元年7月26日	令和元年度 第1回市内各種相談員交流会	1名
令和元年7月31日～8月2日	令和元年度障害者虐待防止・権利擁護指導者養成講座	1名
令和元年8月19日	働き方改革関連法「パートタイム・有期雇用労働法等説明会」	1名
令和元年8月22日	技能実習責任者講習	2名
令和元年9月12日	令和元年度「社会福祉法人・社会福祉施設ブロック研修会」	1名
令和元年9月12日～9月13日	第38回全国社会福祉法人経営者大会	1名
令和元年9月14日	介護職員初任者研修	1名
令和元年9月18日	技能実習責任者講習	1名
令和元年9月21日～22日	第4回移送サービス運転協力者講習会	3名
令和元年10月6日～8日	全国肢体不自由児父母の会	1名
令和元年10月7日～9日	2019年度就労準備支援事業従事者養成研修	1名
令和元年10月12日～2年2月15日	北海道社会福祉会基礎研修	1名
令和元年11月3日～4日	第6回生活困窮者自立支援全国研究交流大会	3名
令和元年11月18日	北海道民間社会福祉事業職員共済会業務説明会	1名
令和元年11月27日～28日	2019年度自立相談支援事業従事者養成研修	1名
令和元年12月11日～13日	2019年度自立相談支援事業従事者養成研修	1名
令和元年12月18日～20日	2019年度相談支援従事者研修(現任研修)	1名
令和2年2月4日～25日	介護職員初任者研修	1名
令和2年2月7日～9日	アメニティーフォーラム24	4名

令和2年2月17日～18日	全道施設長研修会	2名
令和2年2月17日	令和元年度「社会福祉法人経営実務セミナー」	1名
令和2年2月20日～21日	北海道強度行動障害支援者養成研修	1名
令和2年2月21日	令和元年度障害者虐待防止研修	4名
令和2年2月25日	令和元年度「社会福祉法人実務者決算講座」	2名

28 地域の行事への積極的参加、ボランティアの受け入れの推進

① 地域の行事への参加

- ・地域行事等へ積極的に参加を継続し地域との関係づくりに努めた。

ほこしあでは、参加予定していた地域行事が中止になった為、行っていない。

開催日	内容	実施場所
令和元年7月13日	南幌高校学校祭	南幌高校
令和元年7月27日	商工会ふれあいまつり	南幌町中央公園
令和元年9月29日	南幌めぐみ学園 学園祭	南幌めぐみ学園
令和元年10月13日	ボランティアフェスタなんぼろ	南幌町あいくる
令和元年11月9日	南幌養護学祭	南幌養護学校
令和元年11月21日	北の台小学校バザー	北の台小学校

② ボランティアの受け入れ

- ・えぼフェスタにおいて、地域のボランティア団体、婦人会や学生ボランティアの協力を得ることができた。

29 外国人技能実習生受け入れ並びに生活支援等

- ・外国人技能実習制度を活用し、技能実習生受入れにむけて、法人内体制の整備、管理団体との調整、受入れ実習生の生活支援体制の整備を行った。また、受入れにあたり職員のベトナム視察研修や内定者家庭訪問、採用面接を実施した。

① 技能実習生（1期生）の受入れ

令和元年10月30日（金） ほこしあ2名

令和元年12月26日（土） ホホエム1名

② 生活支援の体制など

- ・実習生の住まいを確保するため、札幌市厚別区上野幌の住宅を社宅として借り上げた。また、生活面では、生活指導員の配置や、外部に居宅生活のバックアップと令和2年度に日本語能力試験でのN3取得を目指すため日本語指導を委託した。

③ 研修、面接の実施

令和元年5月15日（水）～20日（日） ベトナムハノイ、ダナン他研修視察

令和元年9月13日（金）～15日（日） ベトナムクアンチ他家庭訪問

令和元年10月22日（火）～25日（金） インドネシアの介護技能実習生教育現場視察

令和2年1月13日（日）～18日（土）ベトナムダナンでの面接、家庭訪問3名

④ 体制整備

技能実習責任者講習の受講（5名）

技能実習指導員講習の受講（1名）

30 北広島市内における青色防犯パトロールの実施

- ・平成30年度から地域貢献活動の一環として実施している青色防犯パトロール車による防犯活動について、一年を通して行った。

<令和元年度実績>

月	実施回数	のべ参加人数	備考（パトロール中に得た情報等）
4	22回	44人	特に異常なし
5	23回	46人	5/13 市より不審者情報の提供あり
6	20回	40人	6/13 市より不審者情報の提供あり
7	22回	44人	7/26 市より不審者情報の提供あり
8	20回	40人	8/7、8/27、8/30 市より不審者情報の提供あり
9	17回	34人	9/12、9/18 市より不審者情報の提供あり
10	22回	44人	10/2、10/3、10/10 市より不審者情報の提供あり
11	21回	42人	11/30 市より不審者情報の提供あり
12	20回	40人	12/20 市より不審者情報の提供あり
1	18回	36人	特に異常なし
2	20回	40人	2/20 市より不審者情報の提供あり
3	22回	44人	3/12 市より不審者情報の提供あり
計	247回	494人	

31 居住支援法人の指定に向けて

- ・障がい福祉サービスや生活困窮者自立支援相談を実施するなかで、住まいの相談や現に暮らしていても、住み慣れた地域で暮らしていくために課題を抱えている相談者も多く、これまで個々の相談者に対して支援を行ってきた。
- ・居住支援法人が行う居住支援業務の住まいに関する情報提供や見守り業務は、現に、法人で実施している業務であり、令和2年度に居住支援法人の指定に受けるべく北海道建設部建築指導課との事前協議を進めた。

32 令和元年度えぼっく年間利用実績

- ・別添令和元年度えぼっく年間利用実績参照。